

専 門 教 養
令和 8 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
特別支援学校 美 術

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、13ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1、**特別支援教育の専門に関する問題** I の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

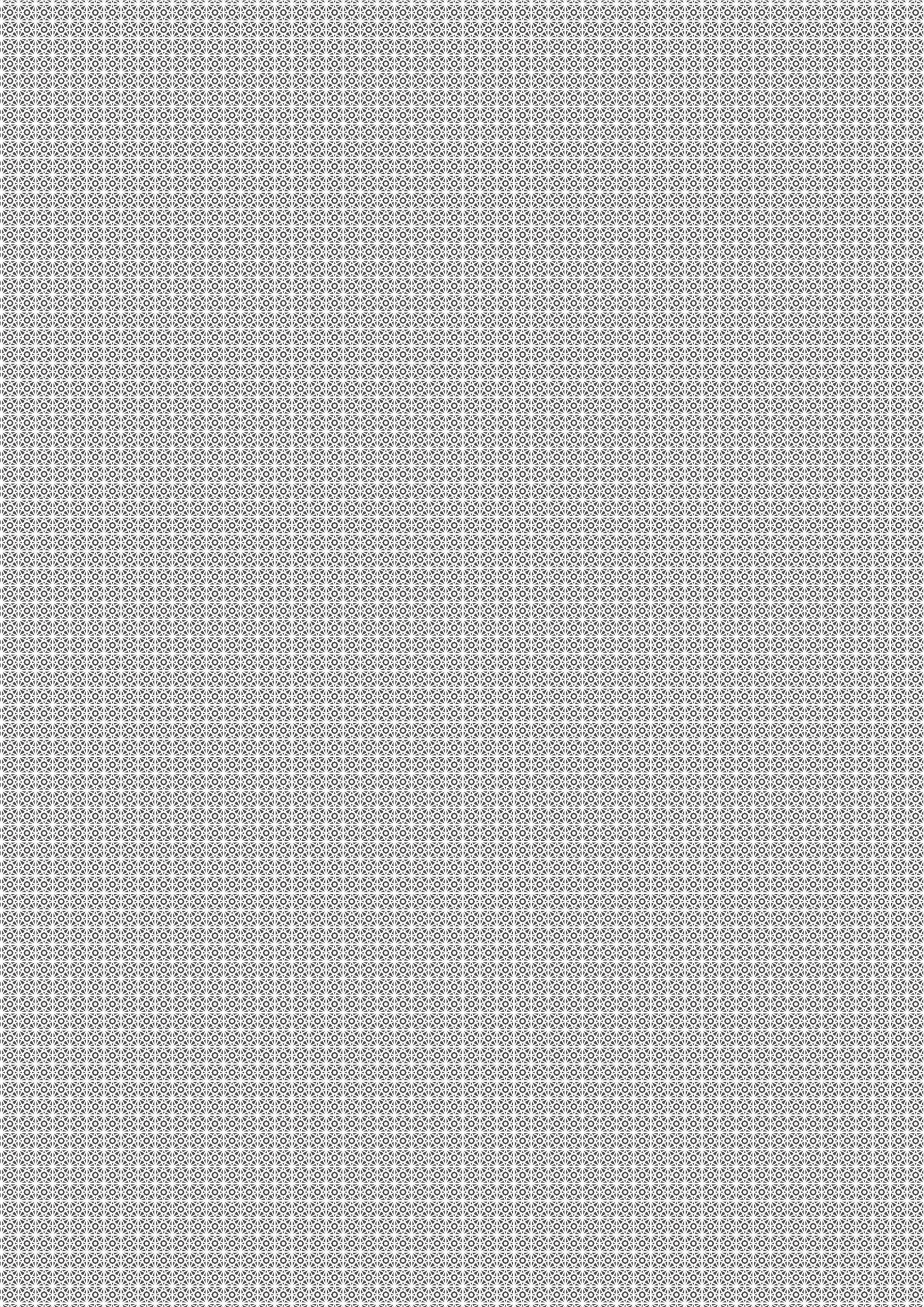
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



問題中に示した図については、特にことわりがなくても、原作となる作品の一部である場合や、必要に応じて部分的に修正を加えてある場合がある。

教科等に関する問題

1 次の各問に答えよ。

〔問 1〕 アクリルガッシュ絵の具に関する記述として適切なものは、次の **1**～**4** のうちのどれか。

解答番号は **1**。

- 1 膠を展色剤とし、顔料と膠を混ぜて使う。顔料によって種類が分かれ、鉱物を砕いた岩絵の具や、黄土などの天然土からつくった水干絵の具がある。
- 2 主な成分は、顔料とアラビアゴムとグリセリンである。透明感があり、色を重ねた時、後から塗った色を通して下の色が見える。
- 3 アクリル樹脂を展色剤とし、紙の他に、ガラスや布にも描くことができる。不透明感が強く、塗りムラの少ない仕上がりになる。
- 4 顔料と乾性油で作る。光沢と透明感があり、乾燥に時間がかかるが、堅牢で耐久性に優れている。

〔問 2〕 次の記述**ア～ウ**は、それぞれ下の彫刻の技法 A～C のいずれかに関するものである。

ア～ウと、A～C との組合せとして適切なものは、下の **1～4** のうちのどれか。解答番号は

2

。

ア キャスティングともいい、型を制作し、溶かした金属やプラスチックなどの液状の物質を、その型に注ぎ込み、作品を造形する方法である。ブロンズ彫刻が該当する。

イ カービングともいい、木や石などを彫り出して作品を造形する技法である。素材を削って減らして造形を行う木彫や石彫が該当する。

ウ モデリングともいい、粘土や蠟など可塑性のある素材を盛り上げたり、付け足したりして表現する技法である。粘土を用いた制作方法であるテラコッタが該当する。

A 彫造

B 鑄造

C 塑造

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 1 | ア －A | イ －B | ウ －C |
| 2 | ア －B | イ －A | ウ －C |
| 3 | ア －B | イ －C | ウ －A |
| 4 | ア －C | イ －A | ウ －B |

〔問 3〕 絵画の表現技法に関する記述として適切なものは、次の **1～4** のうちのどれか。解答番号は

3

。

1 スカンプリングは、絵の具の厚塗り、あるいは盛り上げのことであり、油絵の具やアクリル絵の具を厚く盛り上げるように塗る技法である。

2 キアロスクーロは、下塗りの色がとぎれとぎれに見えるように、下塗りの色の上から不透明な色を薄くかける技法で、ヴェラチューラとも呼ぶ。

3 インパストは、明暗法ともいい、光と深い陰影の明暗を対比して描く技法である。

4 グレーズは、油彩画の技法で、透明または半透明に薄めた絵の具を、ほかの絵の具層の上に塗り重ね、色彩に深みと輝きを与える技法である。

〔問 4〕 我が国の伝統工芸に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 大館曲げわっぱは、天然秋田杉を柾目で木取りした板を熱湯で煮て、板が柔らかくなったところで曲げ、木ばさみで固定して自然乾燥させる。乾燥後、接合部分をぬいとめて完成させる。
- 2 南部鉄器は、組み立てた鋳型と中子のあいだに、とかした鉄をひしゃくで注ぎ込む。鉄が固まる前に鋳型と中子を取りはずし、製品を取りだす。その後、さび防止のため、炭火で焼く金気止めを行う。
- 3 江戸切子は、ダイヤモンドホイールを使い、荒ずりの工程でガラスをけずり、磨きの工程でより細かいカットをほどこす。その後、砥石を使った石掛けの工程でカットした面をなめらかにし、三番掛けの工程で表面を磨き、輝きをだす。
- 4 鎌倉彫は、鎌倉時代に中国から伝わった工芸品の影響を受けて仏具などに彫刻と漆をほどこしたのが始まりとされる。木地はホオを使用するが、カツラは使用しない。彫刻刀で木地に刀痕をほどこして漆を塗り、マコモ粉をつけて磨く。

〔問 5〕 焼き物に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 炆器は、原料には粘土があり、700℃から900℃で焼成する。釉薬をかけないで焼いており、主な例として縄文土器がある。
- 2 陶器は、原料には陶土があり、1200℃から1300℃で焼成する。釉薬をかけないものが多く、主な例として備前焼がある。
- 3 土器は、原料には陶土があり、1100℃から1300℃で焼成する。釉薬をかけるものが多く、主な例として萩焼がある。
- 4 磁器は、原料には陶石があり、1300℃から1400℃で焼成する。釉薬をかけて焼いており、主な例として九谷焼がある。

〔問 6〕 次の記述は、ある染物に関するものである。この染物の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 6。

琉球王国時代に発達した沖縄を代表する染物の総称であり、鮮やかで美しい色合いが特徴である。型染を用い、植物染料と強い日差しでも色あせしにくい顔料とで細かな彩色が施されている。

- 1 紅型
- 2 加賀友禅
- 3 有松・鳴海絞
- 4 江戸更紗

〔問 7〕 のこぎりの使用に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 7。

- 1 のこぎりはひく時に切れるので、ひく時に力を入れて、押す時は軽く戻して、先端のみを使って切るようにする。
- 2 のこぎりをひく角度は、一般的には硬材では角度をやや小さく、軟材では角度をやや大きくしてひくようにする。
- 3 のこぎりをひく時は、柄尻に近い方を持つようにし、のこ身を真横から水平に見ながら切る線に沿って切り進めていく。
- 4 のこぎりをを使って切る時、手や足で押さえにくい形や小さい木材は、万力やクランプなどで固定する。

〔問 8〕 フレスコの技法で描かれた作品として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答
番号は 。

1

2

3

4

〔問 9〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 9 。

- 1 1864年に生まれたフランスの画家で、パリでコルモンに師事した。我が国の浮世絵の影響を受け、石版によるポスターを制作した。代表作に、「ムーラン・ルージュにて」や「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」などがある。
- 2 1848年にパリで生まれたフランスの画家で、船乗りを経てパリで株式仲買人となった。ピサロと知り合い、印象派の影響を受けた。代表作に、「タヒチの女たち」、「マルティニック島の情景」などがある。
- 3 1840年に生まれたフランスの画家で、少年時代をル・アーヴルに過ごし、ブーダンに師事した。我が国の浮世絵の愛好家で、その影響を受けた。代表作に、「睡蓮」、「サン＝ラザール駅」などがある。
- 4 1853年に生まれたオランダの画家である。ミレーの感化の下に農民画から出発した。パリで印象派、新印象派及び我が国の浮世絵の影響を受けた。代表作に、「ひまわり」、「日本趣味・雨の大橋」などがある。

〔問10〕 武者絵として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は

10

 。

1

2

3

4

〔問11〕 我が国の伝統色に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 11 。

- 1 堇色は、堇の花のようなあざやかな青紫色で、明治時代以降は英語の「バイオレット」の訳語になった。
- 2 小豆色は、小豆の実のような灰みをおびた青緑色で、古代から魔除けの色とされたが、色名として用いられるようになったのは江戸時代になってからといわれる。
- 3 青磁色は、青磁の肌色のような明るい薄青色で、神秘的な美しさであることから、秘色とも呼ばれる。
- 4 露草色は、夏の早朝に咲く露草の花のような茶みがかった赤紫色である。露草は、花や葉の汁で布を摺染したことから「着き草」の古名をもつ。

〔問12〕 我が国の彫刻家に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 12 。

- 1 平櫛田中は、鎌倉時代の仏師で、代表作に東大寺の「金剛力士立像」などがある。奈良県にある円成寺の「大日如来坐像」は、最も初期の作品である。
- 2 高村光雲は、岡倉天心や西山禾山の影響を受けた。代表作に「鏡獅子」などがある。
- 3 円空は、各地を巡歴し、「円空仏」を残した。代表作の「十一面観音菩薩立像」は、一本の丸太を三つに割って彫り出した三体の像の一つである。
- 4 運慶は、木彫技術に洋風彫刻の写実性を加えた。代表作に「老猿」がある。

特別支援教育の専門に関する問題

I

次の各問に答えよ。

〔問 1〕 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」の「教育課程の編成における共通的事項」の「内容等の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 13。

- 1 視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部において、学年の内容を2学年まとめて示した教科及び外国語活動の内容は、2学年間かけて指導する事項を示したものである。各学校においては、これらの事項を児童や学校、地域の実態に応じ、2学年間を見通して計画的に指導することとし、特に示す場合を除き、いずれかの学年に分けて、又はいずれの学年においても指導するものとする。
- 2 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部においては、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育及び職業・家庭の各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、全ての児童に履修させるものとする。また、外国語科については、児童や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。
- 3 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部においては、生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、道徳科、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、全ての生徒に履修させるものとする。また、外国語活動については、生徒や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。
- 4 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、各教科の指導に当たっては、各教科の段階に示す内容を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等によらず、具体的に指導内容を設定するものとする。その際、小学部は6年間、中学部は3年間を見通して計画的に指導するものとする。

〔問 2〕 特別支援学校への就学に関する記述として、学校教育法施行令に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

14

 。

- 1 区市町村の教育委員会は、文部科学省令で定める日現在において、当該区市町村に住所を有する者で前学年の初めから終わりまでの間に満六歳に達する者のうち認定特別支援学校就学者について、都道府県の教育委員会に対し、翌学年の初めから一月前までに、その氏名及び特別支援学校に就学させるべき旨を通知しなければならない。
- 2 小学校、中学校、義務教育学校又は中等教育学校に在学する学齢児童又は学齢生徒で視覚障害者等になったものがあるときは、当該学齢児童又は学齢生徒の在学する小学校、中学校、義務教育学校又は中等教育学校の校長は、速やかに、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する都道府県の教育委員会に対し、その旨を通知しなければならない。
- 3 児童生徒等のうち視覚障害者等をその住所の存する都道府県の設置する特別支援学校以外の特別支援学校に就学させようとする場合には、その保護者は、就学させようとする特別支援学校が他の都道府県の設置するものであるときは当該都道府県の教育委員会の、その他のものであるときは当該特別支援学校における就学を承諾する権限を有する者の就学を承諾する書面を添え、その旨をその児童生徒等の住所の存する都道府県の教育委員会に届け出なければならない。
- 4 学齢児童及び学齢生徒のうち視覚障害者等でその住所の存する都道府県の設置する特別支援学校以外の特別支援学校に在学するものが、特別支援学校の小学部又は中学部の全課程を修了する前に退学したときは、当該特別支援学校の校長は、速やかに、その旨を当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する区市町村の教育委員会に通知しなければならない。

〔問 3〕 障害者スポーツに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 15。

- 1 ゴールボールは、脳性麻痺者や四肢機能障害者のためにヨーロッパで考案されたスポーツである。選手は、定められたスローイングボックスからジャックボールと呼ばれる白い目標球に向かって、赤チームと青チームがそれぞれ自分のチームの色の 6 個のボールを投げたり転がしたりして、どれだけジャックボールに近づけられるかを競う。
- 2 パワーリフティングは、下肢に障害のある選手が上半身の力を使い、ベンチプレスでバーベルを持ち上げ、その重量の記録を競う。通常のベンチプレスは足が床についた状態で行われるが、下肢に障害のある選手の場合は、延長されたベンチプレス台の上に足を乗せて行う。
- 3 シットイングバレーボールは、座った姿勢でプレーする 9 人制バレーボールである。ボールは公認のバレーボール球を使用するが、コートのはさは一般のバレーボールより狭く、ネットの高さも低くなっている。
- 4 ボッチャは、1 チーム 3 人の視覚障害のある選手が行う対戦型のチームスポーツである。選手は、視力の程度に関係なく、アイシェードという目隠しを装着する。攻撃側は、相手ゴールに向かって、鈴の入ったボールを転がすように投球する。守備側は、ボールの音を聞き分け、全身を使ってゴールを守る。

〔問 4〕 弱視児童・生徒に対する配慮に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 16。

- 1 教室では、適切な明るさを調節することが必要である。直射日光を取り入れるために、カーテンやブラインドは使用しない。
- 2 見やすい教材を提示するためには、同系色で彩度の低い色を隣り合わせに用いたり、色と色との境界には、できるだけ輪郭線を入れたりする。
- 3 定規は、目盛りが読みやすくシンプルなものがある。不透明の黒地に白文字のものがある。
- 4 ノートは、罫線が細いものを選択する。図面なども線を細くすると見やすくなる。

〔問 5〕 耳の疾患に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 17。

- 1 メニエール病は、難聴、耳鳴などの聴覚症状を随伴し、めまい発作を繰り返す疾患である。メニエール病の本態は、内リンパ水腫と考えられている。
- 2 中耳炎は、中耳に炎症が起こっている状態である。急性中耳炎は、耳管を経て、細菌やウイルスが感染し、炎症が起こる疾患である。滲出性中耳炎は、炎症によって増加した滲出液が、耳管から咽頭へと排出されて起こる疾患である。
- 3 音響外傷は、強大音によって外耳に障害を生じるものである。1 回の強大音による急性音響性外傷と、職場などでの持続的な騒音による慢性音響性外傷がある。
- 4 耳硬化症は、耳小骨のうち、ツチ骨周辺に骨新生と骨吸収による海綿状変化が生じ、種々の程度の難聴を生じる疾患である。

〔問 6〕 次の記述は、ある疾患に関するものである。この疾患の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 18。

特徴的な神経症状が、年齢依存性に出現するものである。生後半年から 1 歳半頃までは一見正常に発達するが、乳児期早期から筋緊張低下、早期の自閉傾向がみられる。その後、獲得していた運動機能の退行をきたし、目的をもった手の運動機能の消失と、特徴的な手の常同運動が出現する。

- 1 ウエスト症候群
- 2 プラダー・ウィリー症候群
- 3 ダウン症候群
- 4 レット症候群

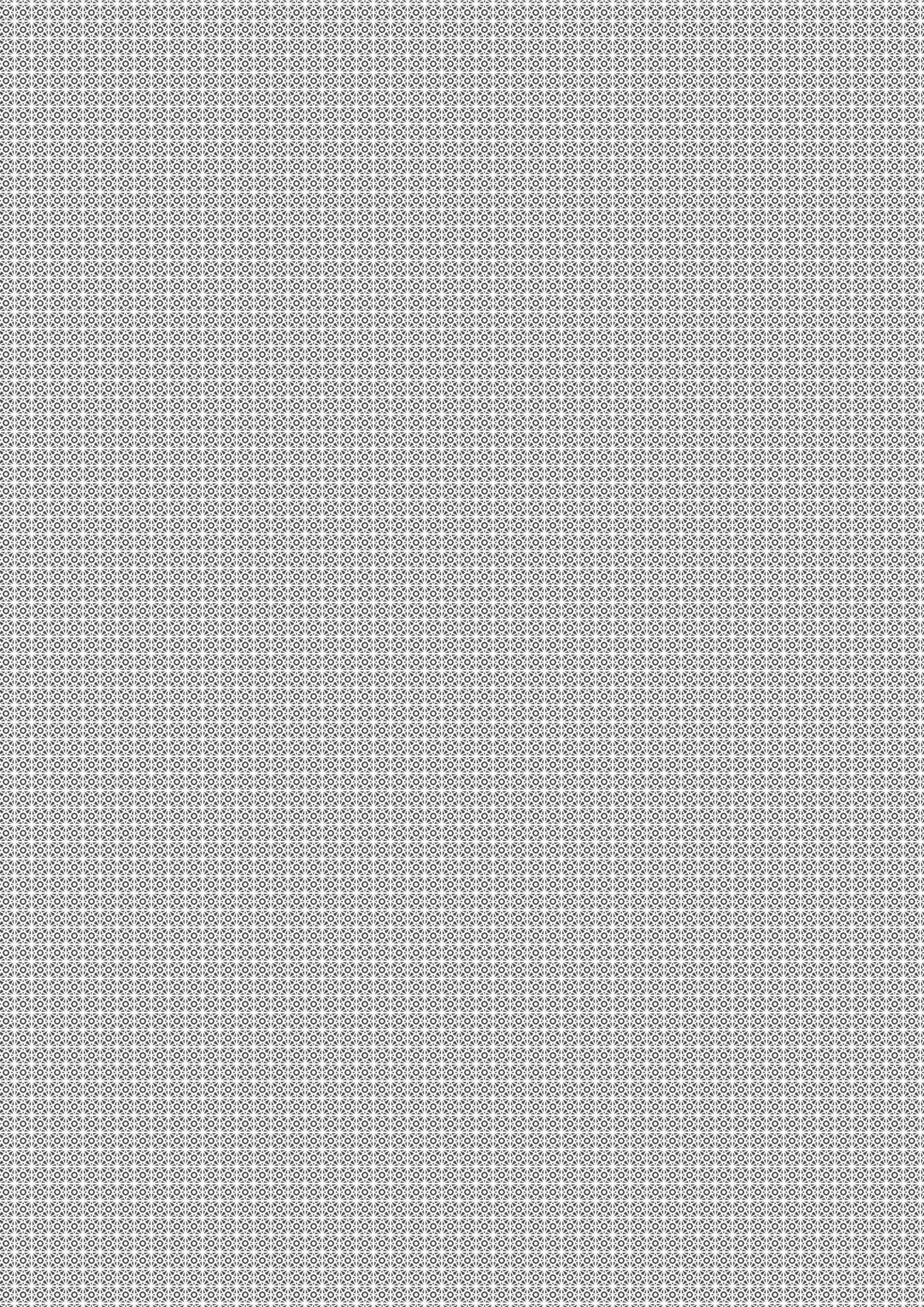
〔問 7〕 二分脊椎に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

19。

- 1 受胎から新生児期までに非進行性の病変が脳に発生し、その結果、永続的なしこし変化しうる運動及び姿勢の異常である。ただ、その症状は2歳までに発現する。進行性疾患や一過性運動障害又は将来正常化するであろう運動発達遅延は除外する。
- 2 筋肉が壊死と部分的な再生を繰り返すことにより、萎縮を生ずる遺伝性疾患である。主症状は、進行性の筋萎縮と筋力低下である。
- 3 胎生期の脊柱と脊髄の形成不全で、本来脊柱の中にあるべき脊髄が背中側に飛び出してしまった状態となる疾患である。症状は病変部位によるが、下肢のまひや膀胱直腸障害が主にみられる。
- 4 骨を形成している成分であるコラーゲンの遺伝子変異が原因の疾患である。主な症状は、骨がもろいため骨折しやすく、四肢や脊椎、胸郭の変形などがみられる。

〔問 8〕 病弱・身体虚弱の子供に対する指導内容に関する記述として、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 20。

- 1 病弱教育では、病気等の自己管理能力を育成することは重要な指導内容の一つである。そのため、病弱・身体虚弱の子供にとって必要な生活規制とは、「生活の自己管理」ではなく、他人からの規制と考えて取り組むことが大切である。
- 2 療養中は治療の副作用による貧血や嘔吐などが長期間続く場合があり、情緒が不安定な状態になることがある。そのようなときは、悩みを打ち明けたり、自分の不安な気持ちを表現できるようにしたり、心理的な不安を表現できるような活動をしたりするなどして、情緒の安定を図ることができるように指導することが必要である。
- 3 進行性の病気の子供の場合、症状が進行して言葉による表出が困難になることがある。今後の進行状況を見極め、今まで出来ていたことが出来なくなることによる自己肯定感の高まりと、そのことに対する心のケアに留意するとともに、コミュニケーション手段を本人と一緒に考え、自己選択・自己決定の機会を確保しながらコミュニケーション手段を活用する力を獲得していくことも大切である。
- 4 心臓疾患のある子供の場合、心臓への負担がかかることから歩行による移動が制限されることがあり、必要に応じて歩行器や電動車椅子等の補助的手段を活用することになる。このような場合には、医師の指導を踏まえることなく、病気等の状態や移動距離、活動内容によって適切な移動手段を選択し、心臓に過度の負担をかけることなく移動の範囲が維持できるよう指導することが大切である。



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号(－)が入ります。次の(1)～(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1～9、0の数字又は符号(－)のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答 番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答 番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、 2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。